

令和5年度引田こども園評価書

1 施設の概要

施設名	東かがわ市立引田こども園	園長	滝 知代
住所	〒769-2901 東かがわ市引田545番地6	TEL	0879-33-5220
HP		E-mail	mlw2001@city.higashikagawa.lg.jp

園児数 学級数 (5.1)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	2名	14名	23名	22名	19名	38名	118名
	1学級	2学級	1学級	2学級	1学級	2学級	9学級

職員 (5.1)	園長	副園長	保育教諭	保育教諭 補助員	庁務員
	1名	1名	26名	3名	1名

園教育 ・保育 目 標	心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成
経営の重点	1 基礎的生活習慣の定着を図り、自立への基礎を養う教育・保育の推進 2 生命の尊さや大切さを知り、優しい心、豊かな情操を育む教育・保育の推進 3 乳幼児理解に努め、実態や発達、年齢に応じた遊びや体験活動を重視した教育・保育の推進 4 保護者や地域に開かれたこども園づくりの推進 5 協働体制の下、資質・能力の向上に努め、信頼される教職員集団づくりの推進
指導の重点	1 0歳児から小学校までを見据えた長期的な視野から、基本的な生活習慣や態度の育成及び健康で安全な生活をつくり出す力の育成 2 様々な体験活動を通して、興味・関心を高めるとともに、豊かな感性や周りの人・動植物を大切に思う心の育成 3 一人一人の発達や興味・関心に応じた環境の中で、自分の思いを表出して伸び伸びと遊び、行動できる子どもの育成 4 便り等による園の情報発信や保護者との人間関係づくり、地域行事への参加・交流等の積極的な推進 5 職員研修の充実や教職員の連帯・協働意識の高揚を図り、“チーム引田”で取り組む体制の構築

2 園教育評価

	評価項目	自己評価	園関係者評価
確かな学びの定着	◎基礎的・基本的な学力定着、伸長のための適切な指導が計画的に行われているか。		
	0～5歳児の発達に応じた教育・保育計画であるか。	B	B
	子どもの年齢や発達に応じた環境構成や保育内容であるか。	B	
	子ども一人一人の幼児理解に努め、思いや考えを大切に、生活の意欲に繋がる関わりができていますか。	A	
	子どもの興味・関心、意欲を高め、子どもの育ちを支援する環境の工夫ができていますか。	A	
心豊かな温かい人づくり	◎豊かな心を育み、正しい規範意識と生活習慣を身に付けた子どもの育成が図られているか。		
	様々な遊びや生活経験を通して、人や動植物に目を向けた豊かな心を育むことができていますか。	A	A
	よりよい人間関係を築くために、子ども一人一人の思いを受け止め、寄り添ったり友達とつないだりする関わりができていますか。	B	
	人と関わるための基本的な生活習慣の形成に向けて、取り組みの工夫ができていますか。	A	
	集団での決まりを守る態度や規範意識を養うことができていますか。	A	
たくましく生きる力の育成	◎様々な体験を通して、心身ともに健康でたくましく生きる力を培うことができていますか。		
	生活や遊びの中で、体を動かすことへの興味・関心を高めるような体験活動を取り入れていますか。	B	B
	家庭と連携して食育や保健指導を行い、規則正しい生活等、基本的な生活習慣の形成に努めることができていますか。	B	
	生活や交通安全についての意識を高める取り組みを進んで行うことができていますか。	B	
	様々な避難訓練を定期的に行い、危機意識を高めたり避難行動がとれるよう努めたりして、有事の際に備えていますか。	A	
教職員組織と研修	◎教育・保育課題を達成するため教職員組織や指導力を向上させるための研修内容になっているか。		
	全職員の共通理解の下、教育・保育活動が行える組織体制になっているか。	B	A
	報告、連絡、相談を確実にし、連携し合って課題解決に努めているか。	B	
	子ども理解や子どもの育ちにつながる研修の工夫ができていますか。	B	
	保育者が意欲的に園内外の研修に取り組み、職員の専門性の向上に努めているか。	A	
教職員の働き方改革	◎教職員のワーク・ライフ・バランスを考慮した業務の適正化等が図られているか。		
	職員同士が協働意識の下、連携・協力してそれぞれの職員の業務改善に努めているか。	B	A
	園務分掌において、経験年数や担任学級等を考慮し、できるだけ均等化されるように努めているか。	A	
	園内研修や職員会は、時間を決めたり、記録を回覧したりして工夫して行っているか。	A	
	行事や活動等の課題や改善点について見直し、負担軽減になるよう改善が図られているか。	B	

保護者・地域との連携	◎園教育の充実のために保護者や地域との連携協力が図られているか。		
	園便り、園長通信、クラス便り等を通して、子どもの様子や取組を保護者に分かりやすく情報発信できているか。	A	A
	保護者や地域、関係機関等と連携し、教育・保育活動の充実に努めているか。	A	
	支援センター活動が地域の子育て支援につながる計画・実践となっているか。	A	
	小中学校との子ども同士、職員同士の交流・連携に努めているか。	A	
施設・設備	◎園児が安全に楽しい学校生活を送れる施設・設備になっているか。		
	教材や遊具等の点検や整備を定期的に行い、必要に応じて迅速に対応できているか。	B	B
	清掃や緑化に努め、衛生的、機能的な環境の保持に努めることができているか。	B	
	常に危機意識をもち、不審者や災害等、有事の際の適切な対応に備えているか。	A	

評価〔A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや改善の必要がある D：改善の必要がある〕

3 成果と課題 〔○成果 ●課題〕

- 園内研修では、討議の柱を決め、担当が事前に打ち合わせをして取り組んできたことで、話し合いが充実した。
- 積極的に発言する職員に限られている。みんなが意見を出し合えるような会の進行の仕方を考えたい。
- 小学校との交流は、子ども達だけでなく職員の交流も計画的に実施でき、内容も深まってきた。
- コロナが落ち着き、園行事や取り組みを再開するにあたり、ねらいや活動の仕方などを話し合い、考える機会になった。
- 避難訓練は、計画的に訓練をしてきたことで、子ども達は臨機応変に素早く行動できるようになってきた。
- 家庭と連携しながら、基本的生活習慣の確立に向けて、取り組みを工夫していきたい。
- 事務の効率化や業務の負担軽減につながる取り組みが必要である。

4 来年度の経営の重点

- 1 豊かな学びや経験が得られるような、環境や援助の在り方を探る。
- 2 各年齢の発達を踏まえ、規則正しい生活等、基本的生活習慣の形成に努める。
- 3 ICTを活用し、業務の効率化を図る。

5 来年度の指導の重点

- 1 豊かな学びや経験が得られるよう、各年齢や発達に応じた環境構成や援助を探り、改善を図る。
- 2 各年齢の発達を踏まえ、基本的生活習慣を身に付けられるように家庭との連携を図る。
- 3 研修や事務の効率化を行い、負担軽減に努める。